



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5261 URL https://www.resol.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 及川 毅雄 TEL 03-3344-8861
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,236	152.6	1,370	-	1,338	-	801	-
2022年3月期第1四半期	3,260	54.1	△628	-	△527	-	△691	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 791百万円 (-%) 2022年3月期第1四半期 △691百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	144.25	-
2022年3月期第1四半期	△124.48	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	38,080	14,194	36.7	2,516.80
2022年3月期	39,056	13,680	34.5	2,422.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,980百万円 2022年3月期 13,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2023年3月期の配当予想については、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	5,564,200株	2022年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	9,372株	2022年3月期	9,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	5,554,828株	2022年3月期1Q	5,554,290株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除となり各種行動制限が緩和されたことで、新型コロナウイルス感染症の影響も緩やかな回復傾向が見られます。新たな変異株による感染拡大の懸念や、国際情勢の影響による物価の高騰など、依然として先行き不透明な状況ではあるものの、当社グループを取り巻く環境にも回復の兆しが見えてきました。

このような経営環境のもと、急速に変化するマーケットに対応した戦略で既存事業の成長を図るとともに新しい価値観を積極的にとらえ、新規事業の活動を加速させました。特に、ゴルフ場でのプライベート空間と開放感の両立が図れる戸建てスタイルの“フェアウェイフロントヴィラ事業”、1泊から長期滞在まで多目的に楽しめる貸別荘の“リソルステイ事業”、脱炭素ニーズを見据えた新たな“再生エネルギー事業”について積極的に取り組みました。同時に、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針である3つの「やさしい」の実践を徹底し、各事業においてサービス体制を強化してお客様の満足度向上を図りました。

ホテル運営事業では、企業研修の団体長期宿泊、ビジネス出張、レジャー・観光宿泊などの動きが活発になり、「上級・女性・観光・長期滞在」のテーマや品質・サービスを重視した企画・販売施策を実施するとともに、エージェントや法人セールスに向けた本部体制の強化を図りました。新規開業施設として、「ホテルリソルトリニティ那覇」を2022年4月に開業し、さらに「ホテルリソルステイ秋葉原」(2022年9月オープン予定)の開業準備も着実に進めました。また、新規事業の“リソルステイ事業”では、貸別荘ニーズの高まりを背景に、「スイートヴィラ」ブランドの拡大を積極的に図りました。

ゴルフ運営事業では需要に合わせてプレー単価を変動させる「レベニューマネジメント」により売上が向上しました。また、リソルカード会員の拡大とリピート率アップを狙った企画の実施やゴルフコースのコンディション向上に向けた品質対策に取り組み、来場者数は順調に推移しました。さらに、ゴルフ場でのプライベート感と開放感の両立が図れる戸建てスタイルとして、「スパ&ゴルフリゾート久慈」と「瀬戸内ゴルフリゾート」において展開している「ゴルフパッケージクラブ」の販売強化を図り、新規事業の“フェアウェイフロントヴィラ事業”のグループコースへの拡大展開を推進しました。

リソルの森(CCRC)事業では、ゴルフ部門は、コース品質への評価もあり、プレー単価が改善し売上向上へとつながりました。宿泊部門においては、アウトドアリゾート需要を見据えたグランピングエリアが高単価・高稼働率となりました。また、ニューノーマルに対応した運営に取り組み、体験型プログラム等の付加価値をつけた商品企画や企業研修の視察誘導に積極的に取り組みました。スポーツ部門においては、「MTC スポーツクラブ」営業時間拡大に伴い会員制度を刷新しました。さらに、リゾートエリアとの相乗効果も相まって、ゴルフ会員権やリゾート会員権「ゴルフパッケージクラブ リソルの森」の販売が好調に推移しました。

福利厚生事業では、ウェルビーイング関連メニューの提携拡充と会員の利便性向上を図りました。また、資本提携している(株)アドバンテッジリスクマネジメント連携を強化しながら、生活オンライン機能においてメニュー数拡充やLINEやスマホアプリでの利用促進などを図りました。

再生エネルギー事業では、グループゴルフ場において自家消費型事業のソーラーカーポート事業を推進しました。また、福島石川太陽光の新規設備建設計画の準備を進めました。

投資再生事業では、投資再生事業の一環として旧ゴルフ場を用途変更し、販売用不動産としてゴルフ場敷地内に開発した福島石川太陽光発電所第二設備の信託受益権(40%)を売却しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症によるホテル運営事業への影響が前年より改善したことや、投資再生事業が収益に寄与したことにより、売上高は8,236百万円(前年同四半期比152.6%増)、営業利益は1,370百万円(前年同四半期は営業損失628百万円)、経常利益は1,338百万円(前年同四半期は経常損失527百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は801百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失691百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、38,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて976百万円減少しております。これは主に現金及び預金が1,255百万円増加、販売用不動産が2,094百万円減少等によるものです。

負債につきましては、23,885百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,490百万円減少しております。これは主に1年内返済長期借入金が1,089百万円減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要素が多く、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

また、上記の通り2023年3月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定とし、2023年3月期の業績予想の算定が可能となった時点で、配当予想につきましても速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,452,681	4,708,227
営業未収入金(純額)	1,098,443	800,555
商品	100,250	99,625
販売用不動産	4,571,767	2,477,107
貯蔵品	74,021	78,822
その他	1,377,037	1,221,766
流動資産合計	10,674,201	9,386,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,132,532	6,114,857
土地	13,514,523	13,520,389
その他(純額)	2,756,837	3,095,428
有形固定資産合計	22,403,892	22,730,675
無形固定資産		
のれん	448,339	427,378
その他	356,523	356,846
無形固定資産合計	804,863	784,225
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	5,173,447	5,179,135
固定資産合計	28,382,203	28,694,035
資産合計	39,056,405	38,080,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	269,874	300,871
短期借入金	4,500,000	4,747,140
1年内返済予定の長期借入金	4,440,608	3,350,832
未払法人税等	721,307	853,656
賞与引当金	148,412	93,900
役員賞与引当金	11,000	11,000
その他	4,044,912	3,465,948
流動負債合計	14,136,114	12,823,348
固定負債		
長期借入金	6,611,196	6,560,661
預り保証金	2,109,568	2,062,595
退職給付に係る負債	447,422	435,886
従業員特別補償引当金	9,850	9,850
資産除去債務	398,553	199,735
その他	1,663,099	1,793,670
固定負債合計	11,239,690	11,062,398
負債合計	25,375,805	23,885,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,663,333	2,663,333
利益剰余金	6,868,424	7,391,978
自己株式	△22,637	△22,637
株主資本合計	13,457,207	13,980,761
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	266	△374
その他の包括利益累計額合計	266	△374
非支配株主持分	223,125	214,006
純資産合計	13,680,600	14,194,394
負債純資産合計	39,056,405	38,080,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,260,117	8,236,571
売上原価	1,269,634	3,875,996
売上総利益	1,990,483	4,360,574
販売費及び一般管理費	2,618,972	2,989,818
営業利益又は営業損失(△)	△628,488	1,370,756
営業外収益		
受取利息	0	1
受取賃貸料	2,626	1,476
雇用調整助成金	93,279	16,678
還付金収入	313	1,151
その他	61,014	34,647
営業外収益合計	157,233	53,955
営業外費用		
支払利息	40,691	39,356
支払手数料	10,682	44,107
その他	5,346	3,234
営業外費用合計	56,720	86,698
経常利益又は経常損失(△)	△527,976	1,338,013
特別利益		
固定資産売却益	136	17,791
その他	-	437
特別利益合計	136	18,229
特別損失		
固定資産売却損	-	577
固定資産除却損	670	1,306
新型コロナウイルス感染症による損失	126,617	-
その他	-	1,687
特別損失合計	127,287	3,570
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△655,127	1,352,672
法人税、住民税及び事業税	38,278	573,438
法人税等調整額	△1,036	△12,942
法人税等合計	37,242	560,495
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△692,369	792,176
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△960	△9,118
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△691,409	801,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△692,369	792,176
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	380	△640
その他の包括利益合計	380	△640
四半期包括利益	△691,988	791,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△691,028	800,654
非支配株主に係る四半期包括利益	△960	△9,118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	680,619	1,460,651	629,182	212,804	267,209	9,651	3,260,117	—	3,260,117
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,068	10,972	11,128	3,985	14	—	36,168	△36,168	—
計	690,687	1,471,623	640,310	216,789	267,223	9,651	3,296,285	△36,168	3,260,117
セグメント利益 又は損失(△)	△602,142	226,241	△11,515	△454	29,875	△3,906	△361,902	△166,074	△527,976

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△166,074千円には、セグメント間取引消去△32,101千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△133,973千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	680,619	1,441,927	625,669	25,228	267,209	6,859	3,047,511	—	3,047,511
一定の期間にわたり 移転される財	—	18,724	3,513	187,576	—	2,792	212,605	—	212,605
顧客との契約から生 じる収益	680,619	1,460,651	629,182	212,804	267,209	9,651	3,260,117	—	3,260,117
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	680,619	1,460,651	629,182	212,804	267,209	9,651	3,260,117	—	3,260,117

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	1,424,478	1,727,877	890,516	217,926	52,396	3,923,375	8,236,571	—	8,236,571
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,318	11,614	11,735	7,106	—	1,800	54,574	△54,574	—
計	1,446,796	1,739,491	902,252	225,033	52,396	3,925,175	8,291,146	△54,574	8,236,571
セグメント利益 又は損失(△)	△570,040	282,331	65,982	△17,785	24,751	1,733,102	1,518,341	△180,327	1,338,013

(注) ①. セグメント利益又は損失(△)の調整額△180,327千円には、セグメント間取引消去△43,586千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△136,741円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外収益であります。

②. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	1,424,478	1,677,980	860,742	33,771	52,396	3,921,735	7,971,104	—	7,971,104
一定の期間にわたり 移転される財	—	49,896	29,774	184,155	—	1,640	265,466	—	265,466
顧客との契約から生 じる収益	1,424,478	1,727,877	890,516	217,926	52,396	3,923,375	8,236,571	—	8,236,571
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,424,478	1,727,877	890,516	217,926	52,396	3,923,375	8,236,571	—	8,236,571

4. 報告セグメントの変更等に関する事項
(セグメント区分の変更)

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「ホテル運営事業」の一部を「ゴルフ運営事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分作成により作成したものを記載しております。